

特許取得

特許名：新規抗PAD4抗体（分割出願、特願2018-128111）
特許査定国：日本（特許第6675739号）

特許名：FSTL1を利用した抗がん剤・転移抑制剤およびその併用剤
特許査定国：米国

部門紹介

機能性素材（B to B）事業

鶏卵・野菜・緑茶・乳酸菌など、私たちの身近な食品素材から生理活性物質を探索し、科学的考証に基づいた素材開発を行っています。

通信販売（B to C）事業

当社及び株式会社フューチャーラボのサブライセンス、化粧品等の各製品をテレビ、ラジオ等の広告媒体を通じて販売しております。

バイオメディカル事業

創薬事業、医薬品・診断薬開発目的のための抗体受託作製、及び各素材・製品等に関して分析・効能評価試験を行っています。

株主の状況

株式情報 (2020年7月31日現在)

- 発行可能株式総数 68,800,000株
- 発行済株式の総数 29,043,400株
- 株主数 12,451名
- 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
金 武 祚	3,633,300株	12.50%
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN(CASHPB)(常任代理人 野村證券株式会社)	996,500株	3.43%
江崎グリコ株式会社	732,000株	2.52%
MSCO CUSTOMER SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタンレーMUF6証券株式会社)	716,100株	2.46%
益 田 和 二 行	698,300株	2.40%
金 英 一	649,000株	2.23%
益 田 美 玲	582,100株	2.00%
金 湧 淑	525,500株	1.80%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	512,700株	1.76%
金 千 尋	509,100株	1.75%

株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年7月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年1月31日
定時株主総会	毎年10月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。

会社概要

会社概要 (2020年7月31日現在)

- 社 名 株式会社ファーマフーズ
- 本 社 〒615-8245 京都市西京区御陵大原1番地49
- 電 話 075-394-8600
- 設 立 1997年9月12日
- 資 本 金 20億3,377万円
- 連結従業員数 168名
- 主要な事業内容 機能性食品素材の開発・販売、通信販売、バイオメディカル事業

役 員 (2020年7月31日現在)

代表取締役社長	金 武 祚
専務取締役	益 田 和 二 行
常務取締役	青 田 正 義
取締役	堀 江 子 範
社外取締役	井 上 泰 信
社外取締役	佐 村 哲 哉
常勤監査役	山 根 哲 郎
社外監査役	伊 井 野 貴 史 也
社外監査役	辻 本 真 信
社外監査役	八 田 信 男



株式会社ファーマフーズ



代表取締役社長
金 武 祚

第23期 年次報告書 2019年8月1日から2020年7月31日まで

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績の向上、雇用情勢や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が見受けられましたが、第3四半期以降、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大による外出制限及び営業自粛等、先行きの不透明な状況が続きました。

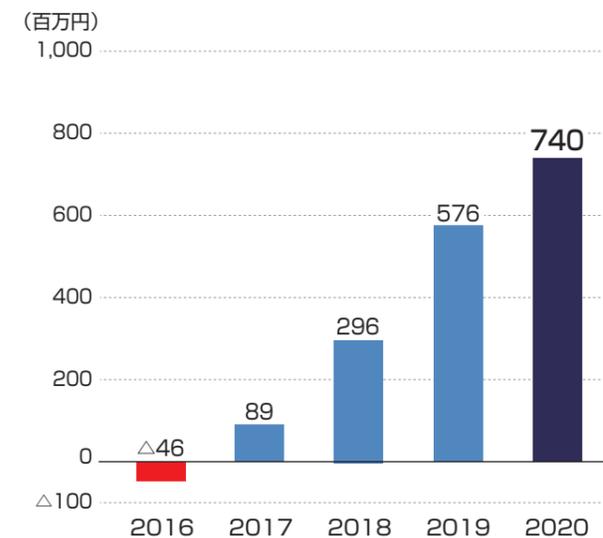
一方で、当社グループを取り巻く環境は、高齢化社会の進展による人口構造の変化で、健康や美容に対する意識がますます高くなっており、また、インターネットやドラッグストアでの販売の増加など、健康食品や化粧品の販売チャネルは多様化しつつあります。

このような状況下におきまして、当社グループは、当連結会計年度の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が過去最高を更新いたしました。

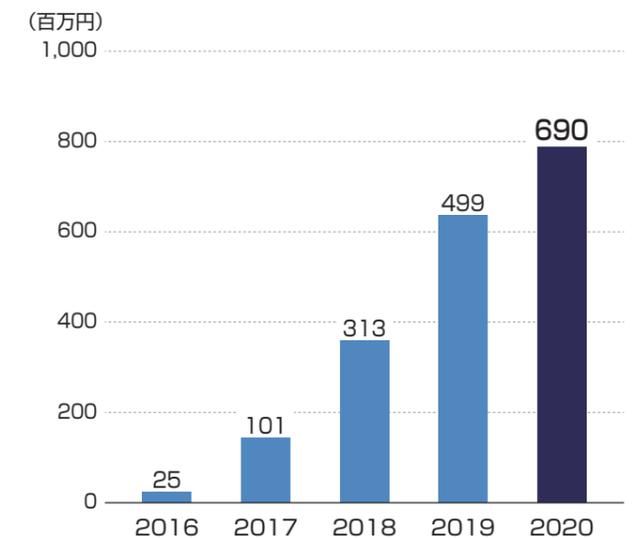
会社の業績（連結）



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



TOPICS GABAが「認知機能」を維持改善

当社は、三菱商事ライフサイエンス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤木 洋）と共同で、GABAのヒト認知機能に関する有効性の臨床試験を実施しました。

認知機能の衰えを感じる40歳以上の健常者120名を対象として臨床試験を実施した結果、GABAを摂取した群の被験者は、GABAを摂取しなかった群（プラセボ群）に対して有意に認知機能の維持・改善が見られました。

日本の認知機能サポート市場は163億円、アメリカは約6,000億円



出所：H・Bフーズマーケティング便覧 2020 No.2（富士経済）

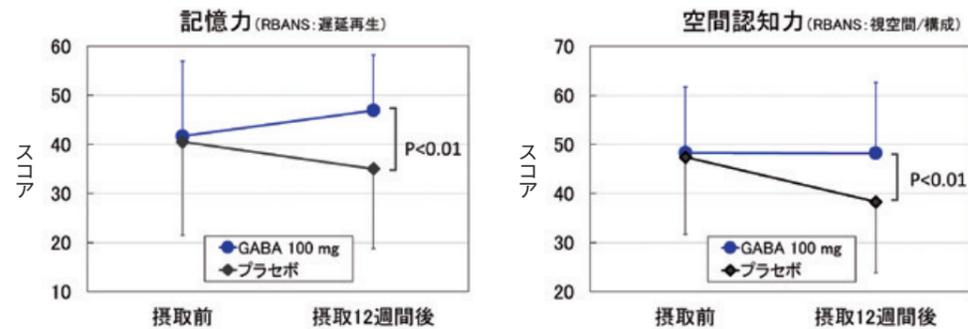
2015年の機能性表示食品制度の施行以来、「記憶力」の維持などを訴求した商品が多数発売されています。

アメリカ市場においては、数年にわたり高い成長率を示しており、2023年には5.813百万ドルの市場規模になると予測されており、世界的にも関心の高い分野となっています。

超高齢社会に伴い“ボケたくない”“認知症になりたくない”という潜在ニーズは高い 認知機能を維持・改善する商品が各社から順次発売予定

今回の臨床試験により、「ファーマギャバ®」を用いた「認知機能」を維持・改善する機能性表示食品の届出が可能となりました。一般食品にも添加が容易な当社の「ファーマギャバ®」の採用を増やすことにより、認知機能マーケットを拡大して参ります。

下図 GABA100mg摂取により記憶力、空間認知力が維持・改善された



GABAを摂取した群の被験者は、GABAを摂取しなかった群（プラセボ群）に対して有意に認知機能が維持・改善されました。特に、「記憶力」及び「空間認知力」は100mgの摂取で維持・改善が見られました。

また、200mgのGABAを摂取すると「記憶力」、「空間認知力」に加えて、「論理的思考力」、「作業記憶力」、「持続的注意力」も維持・改善されました。さらに、認知機能とともに「活力」や「心の健康」が改善されることも明らかとなりました。

TOPICS Newsweek INTERNATIONAL に掲載されました

日本で活躍する企業の中から、イノベーションを起こした「隠れたチャンピオン」として、当事業の革新性への取材が行われました。



以下は、Newsweek International Magazine（2020年6月12日発刊号）に掲載された内容の一部を当社で参考翻訳したものです。

科学で食の潜在力を発見

ニワトリの卵は、おそらく世界で最も広く普及している食品であり、安価で低カロリー、しかも栄養素、特にタンパク質が豊富な供給源として高く評価されている。

しかし、卵は食べ物として重宝されるだけの存在に留まらない可能性がある。京都を拠点にするバイオテクノロジー企業、株式会社ファーマフーズ（略称：PFI）は、機能性食品成分をヘルスケアや医薬品に展開する。感染症を防ぐ抗体から、骨の形成や育毛を促進する成分にいたるまで、卵の中に隠された数多の機能を引き出すことに注力する。

「私たちは鶏卵を科学するプロ」と語るのはPFIの金武祐代表取締役社長。「卵には生命を作り、維持する成分が満ちている。私たちの使命は、そのようなプロセスを理解し、そこから付加価値製品を生み出すこと。鶏卵には未知の因子が多々あり、それらを発見して世界に発信したい。」

PFIの研究開発テーマは、免疫、老化、神経。「バイオカプセル」である鶏卵から、免疫システムの維持を担う鶏卵抗体「オボロン」を開発した。一方、ボーンペップは、骨形成を促進する卵黄ペプチドで、2005年の発売以来PFIのトップセラーとなっている。HGP（エイチ・ジー・ピー）は卵由来の育毛促進原料、酵素で卵白を加水分解することで生じたランペップは、スポーツニュートリション向けのペプチドとして注目されている。

しかし、PFIの最も評判が良い製品は、GABA（ギャバ：γ（ガンマ）-アミノ酪酸）である。GABAは野菜や果物に含まれるアミノ酸の一種であり、PFIは、そのGABAの売上及びR&Dにおいて世界をリードしているのだ。ストレス緩和と睡眠改善効果が有名なGABAだが、PFIは、乳酸菌を発酵させることにより高純度かつ大量のGABAを生産する技術確立した。そして、金社長の表現を借りれば「世界を席巻」したのである。

健康的な生活習慣に対する消費者の意識が高まり、世界の機能性食品の市場規模は年率7.9%増加し、2025年までに2,775億7,000万ドルに達すると予測される。1980年代に食の機能という概念を開拓し、今日世界で最も高齢化が進む日本は、ヘルスケア分野における予防策の一つとして機能性食品に注目している。国内外におけるこのような機能性食品市場の成長は、「機能性食品業界のソニーまたはニコン」を目指すPFIに大きなチャンスをもたらすだろう。

TOPICS ニューモ®育毛剤100万本突破

当社が開発したタマゴ由来の育毛成分「HGP®」が配合されており、使用後の効果を実感したご愛用者様による継続購入が、出荷数の大幅な伸びに寄与しました。

T様 薄減状態だった頭頂部が、2ヶ月で改善!!

M様 ボリュームアップで気持ちも若々しく!

医薬部外品の育毛剤では売上シェア No.1になると見込まれています。